

○ISO/TC 8/SC 8(船舶設計分科委員会)担当分

議長:Dr. Sei-chang Lee(元韓国船級協会(KR)副会長)、幹事国:韓国(韓国造船工業会(KOSHIPA))

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC8	ISO 614:2012	Ships and marine technology -- Toughened safety glass panes for rectangular windows and side scuttles - Punch method of non-destructive strength testing	船舶及び海洋技術－船用丸窓・角窓用強化安全ガラス－非破壊試験パンチ試験法	ISO 21005に適合した船用丸窓・角窓用強化安全ガラスの非破壊試験方法(パンチ試験法)について取り纏めたもの。	2012.06.15.	—
SC8	ISO 1751:2012	Ships and marine technology -- Ships'side scuttles	船舶及び海洋技術－船用丸窓	船用丸窓(系列、級別、形式及び予備寸法)の分類、互換性及び構造上必要な寸法、構造、材質、試験、表示及び製品の呼び方について取り纏めたもの。	2012.07.01.	JIS F 2413:1997 (改正前ISO規格とIDT)
SC8	ISO 1964:1987	Shipbuilding -- Indication of details on the general arrangement plans of ships	造船－船舶一般配置図記号	船舶の一般配置図の詳細記述として使用される図記号について取り纏めたもの。	1987.10.01.	JIS F 0053:2000 (IDT)
SC8	ISO 3434:2012	Ships and marine technology -- Heated glass panes for ships' rectangular windows	船舶及び海洋技術－船用角窓用電熱ガラス	ISO 3903に従った船用電熱式角窓の構造特性、光学品質、電流回路、公差、試験、表示、製品の呼び方について取り纏めたもの。	2012.09.01.	—
SC8	ISO 3796:1999	Ships and marine technology -- Clear openings for external single-leaf doors	船舶及び海洋技術－外開き一枚戸の有効開口	コーミングを設けた外開き一枚戸の有効開口について標準的な寸法を取り纏めたもの。	1999.10.15.	—
SC8	ISO 3797:1976	Shipbuilding -- Vertical steel ladders	造船－鋼製垂直はしご	小さい船倉、甲板間、マスト、キングポスト、トランク、甲板室頂部、保守台等に取り付けられる鋼製垂直はしごの主要寸法及び特性について取り纏めたもの。	1976.09.30.	JIS F 2602:1999 (MOD)
SC8	ISO 3902:1990	Shipbuilding and marine structures -- Gaskets for rectangular windows and side scuttles	造船及び海洋構造物－角窓及び丸窓用ガスケット	ISO 1751に適合する丸窓及びISO 3903に適合する角窓の主要な構成部品(窓枠、ガラス枠及び内蓋)間の水密性を確保するために使用するガスケットの寸法及び材料について取り纏めたもの。	1990.02.15.	JIS F 2411:1998 (IDT)
SC8	ISO 3903:2012	Ships and marine technology -- Ships' ordinary rectangular windows	船舶及び海洋技術－船用角窓	船用角窓の分類(系列、級別、形式及び予備寸法)、互換性及び構造上必要な寸法、材料、試験、表示及び製品の呼び方について取り纏めたもの。	2012.07.01.	JIS F 2421:1998 (改正前ISO規格とIDT)
SC8	ISO 3904:1990	Shipbuilding and marine structures -- Clear-view screens	造船及び海洋構造物－クリアビュースクリーン	主として船舶に用いられるクリアビュースクリーンの設計及び構造に関する要求事項、製品の呼称及び取付方法について取り纏めたもの。	1990.06.15.	—
SC8	ISO 5480:1979	Shipbuilding -- Guardrails for cargo ships	造船－貨物船のガードレール	1966年の満載喫水線に関する国際条約附属書 I 第 II 章第25規則第2項及び第3項の規定に適合する貨物専用のガードレール及び支柱について、寸法、材料、製品品質及び仕上げの標準を取り纏めたもの。	1997.07.15.	—
SC8	ISO 5572:1987	Shipbuilding and marine structures -- Numbering of equipment and structural elements in ships	造船及び海洋構造物－船内の機器及び構造要素の番号付け	電算機プログラムにおいて使用するために参照番号が要求される場合の水線、構造フレーム、横置隔壁、甲板、区画(船倉、甲板間、タンク)、ハッチ、マスト及び荷役設備に番号付けに係る慣例について取り纏めたもの。	1987.11.01.	—
SC8	ISO 5778:1998	Ships and marine technology -- Small weathertight steel hatches	船舶及び海洋技術－鋼製風雨密小形ハッチ	船上で使用する鋼製風雨密の小形のハッチの互換性を確保するために、その主要寸法、附属金物の位置と数、裁量および製品の品質について取り纏めたもの。	1998.08.15.	JIS F 2321:2006 (MOD)
SC8	ISO 5779:1987	Shipbuilding -- Ordinary rectangular windows -- Positioning	造船－角窓－位置決定	国際航海に従事する旅客船及び貨物船に適用可能なISO 3903に従って製造した角窓の位置決定について取り纏めたもの。	1987.05.01.	JIS F 2431:1998 (IDT)

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC8	ISO 5780:1987	Shipbuilding -- Side scuttles -- Positioning	造船－丸窓－位置決定	国際航海に従事する旅客船及び貨物船に適用可能なISO 1751に従って製造した丸窓の位置決定について取り纏めたもの。	1987.05.01.	JIS F 2432:1998 (IDT)
SC8	ISO 5797:2004	Ships and marine technology -- Windows and side scuttles for fire-resistant constructions	船舶及び海洋技術－防火構造用の窓及び丸窓	IMO・FTPコード(IMO決議A.754(18))第3部で定義されるA級仕切り及びB級仕切り用の窓及び丸窓についての要求事項を取り纏めたもの。	2004.08.01.	—
SC8	ISO 5894:1999	Ships and marine technology -- Manholes with bolted covers	船舶及び海洋技術－ボルト締め蓋付マンホール	圧力容器用以外の一般船舶用のボルト締め蓋付で水密性及び油密性を有するマンホールの要求事項について取り纏めたもの。	1999.12.01.	—
SC8	ISO/AWI 5894	Ships and marine technology -- Manholes with bolted covers	船舶及び海洋技術－ボルト締め蓋付マンホール	この規格で定めるマンホールの種類、形状、寸法などを改正、追加する中国提案。 本件審議のため、SC8/WG18が設置されており、2017年2月にWGを開催し、審議を行った。	2016.10.17 NP投票可決	—
SC8	ISO 6042:2015	Ships and marine technology -- Weathertight single-leaf steel doors	船舶及び海洋技術－鋼製風雨密一枚戸	船上で使用する鋼製風雨密一枚戸の互換性を確保するため、その主要寸法、材料及び製品の品質について取り纏めたもの。	2015.09.01	JIS F 2318:1999 (MOD) 1998年版の翻訳
SC8	ISO 6050:1987	Shipbuilding -- Bulbous bow and side thruster symbols	造船－バルバスバウ及びサイドスラストの記号	船のバルバスバウ及びサイドスラストの有無を表示するための記号について取り纏めたもの。	1987.09.15.	JIS F 0052:1999 (IDT)
SC8	ISO 6345:1990	Shipbuilding and marine structures -- Windows and side scuttles -- Vocabulary	造船及び海洋構造物－窓及び丸窓－用語	船舶及び海洋構造物への取付けに適した窓に関連して用いられる種々の用語及び定義について取り纏めたもの。	1990.11.15.	JIS F 0015:1998 (MOD)
SC8	ISO 7461:1984	Shipbuilding -- Shiplines -- Numerical representation of elements of the hull geometry	造船－船会社－船こく形状要素の数値表現	船こくに関する定義の異なるシステム間での形状データの交換を行うことを目的とした船こく線図の幾何学的形状を数値形式で表現する方法について取り纏めたもの。使用するべきデータフォーマットは、ISO 7838として取り纏めている。	1984.09.15.	—
SC8	ISO 7462:1985	Shipbuilding -- Principal ship dimensions -- Terminology and definitions for computer applications	造船－船の主要寸法－コンピュータアプリケーションのための用語及び定義	造船用コンピュータプログラムへの入出力に使用される物理帳に関する用語及び定義を取り纏めたもの。	1985.02.15.	—
SC8	ISO 9203-1:1989	Shipbuilding -- Topology of ship hull structure elements -- Part 1: Location of elements	造船－船こく構造要素の位相－第1部:要素の位置	ISO 9203は、要素及び配置に関する情報を容易かつ正確に伝達することを目的として船こく外板要素の位相について取り纏めたもので、この部では要素の位置に関するものを取り纏めている。	1989.07.15.	—
SC8	ISO 9203-2:1989	Shipbuilding -- Topology of ship hull structure elements -- Part 2: Description of elements	造船－船こく構造要素のトポロジー－第2部:要素の表現方法	ISO 9203は、要素及び配置に関する情報を容易かつ正確に伝達することを目的として船こく外板要素の位相について取り纏めたもので、この部では要素の表現方法について取り纏めている。	1989.07.15.	—
SC8	ISO 9203-3:1989	Shipbuilding -- Topology of ship hull structure elements -- Part 3: Relations of elements	造船－船こく構造要素のトポロジー－第3部:要素の相互の関係	ISO 9203は、要素及び配置に関する情報を容易かつ正確に伝達することを目的として船こく外板要素の位相について取り纏めたもので、この部では要素相互の関係について取り纏めている。	1989.07.01.	—
SC8	ISO 9519:1990	Shipbuilding and marine structures -- Rungs for dog-step ladders	造船及び海上構造物－ドッグステップラダーの踏板	ドッグステップラダーの踏板の形式、寸法、材料、製品の呼称等について取り纏めたもの。	1990.11.01.	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC8	ISO 14409:2011	Ships and marine technology -- Ship launching air bags	船舶及び海洋技術－船舶進水用エアバッグ	船舶の進水に用いられるエアバッグについて、用語及び定義、分類、材料及び寸法、試験項目及び試験方法を取り纏めたもの。	2011.09.11.	—
SC8	ISO 15401:2000	Ships and marine technology -- Bulk carriers -- Construction quality of hull structure	船舶及び海洋技術－ばら積み運搬船－船こく構造の建造に関する品質	鋼製のばら積み運搬船の船こく構造の建造に係る品質の要求事項について取り纏めたもの。二重船こくのバルクキャリアには適用しない。	2000.02.15.	—
SC8	ISO 15402:2000	Ships and marine technology -- Bulk carriers -- Repair quality of hull structure	船舶及び海洋技術－ばら積み運搬船－船こく構造の修繕に関する品質	鋼製のばら積み運搬船の船こく構造の保守及び修繕に係る品質の要求事項について取り纏めたもの。二重船こくのバルクキャリアには適用しない。	2000.02.15.	—
SC8	ISO 15583:2005	Ships and marine technology -- Maritime standards list	船舶及び海洋技術－海事関係規格一覧表	2002年時点における海事関係のISO規格及び造船8カ国(中国、ドイツ、インド、日本、韓国、ポーランド、ロシア、米国)の海事関係規格についてISO/TC8の分科委員会に対応するよう分類整理の上、一覧表として取り纏めたもの。	2005.06.01.	—
SC8	ISO 16145-1:2012	Ships and marine technology -- Protective coatings and inspection method -- Part 1: Dedicated sea water ballast tanks	船舶及び海洋技術－船舶の防食塗装及び検査方法－第1部:海水バラスト専用タンク	海水バラスト専用タンクの防食方法及び検査方法について取り纏めたもの。	2012.12.01.	—
SC8	ISO 16145-2:2012	Ships and marine technology -- Protective coatings and inspection method -- Part 2: Void spaces of bulk carriers and oil tankers	船舶及び海洋技術－船舶の防食塗装及び検査方法－第2部:ばら積み運搬船及び油タンカーの空所	ばら積み運搬船及び油タンカーの空所の防食方法及び検査方法について取り纏めたもの。	2012.10.01.	—
SC8	ISO 16145-3:2012	Ships and marine technology -- Protective coatings and inspection method -- Part 3: Cargo oil tanks of crude oil tankers	船舶及び海洋技術－船舶の防食塗装及び検査方法－第3部:原油タンカーの貨物油タンク	原油タンカー(5000DWT以上で2013年1月1日以後に建造契約が結ばれるもの若しくは同様の建造段階にあるもの又は2016年1月1日以後に引渡しを受けるもの)の貨物油タンクの防食方法及び検査方法について取り纏めたもの。	2012.10.01.	—
SC8	ISO 16145-4:2013	Ships and marine technology -- Protective coatings and inspection method -- Part 4: Automated measuring method for the total amount of water-soluble salts	船舶及び海洋技術－船舶の防食塗装及び検査方法－第4部:鋼材表面の塗装前塩分濃度自動測定方法	防食塗装前の鋼板表面の塩分濃度評価のため電導度計を用いた自動塩分濃度測定方法について取り纏めたもの。【日本主導】	2013.02.01.	—
SC8	ISO 16145-5:2014	Ships and marine technology - Protective coatings and inspection method -- Part 5: Assessment and calculating method for damaged coating areas of ballast tanks	船舶及び海洋技術－船舶の防食塗装及び検査方法－第5部:バラストタンクの塗装損傷面積の評価計算方法	バラストタンク及びIMO/PSPCが適用される貨物油タンクの塗装損傷面積の評価及び計算方法について取り纏めるもの。	2014.04.22	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC8	ISO 16155:2006	Ships and marine technology -- Computer applications -- Shipboard loading instruments	船舶及び海洋技術－コンピュータアプリケーション－船舶積付計器	積付けその他の安全に関する事項(非損傷時復原性、縦強度等)に関連した機能を果たすためにコンピューターを使用する場合の積付計算用計器の要求事項についてIMOのMSC/Circ.854及び891並びにIACS Recommendation No.4を補完するものとして取り纏めたもの。	2006.04.15.	—
SC8	ISO 16548:2012	Ships and marine technology -- Ship design -- General guidance on emergency towing procedure	船舶及び海洋技術－船舶設計－非常時曳航手順に関する一般の手引き	SOLAS 第II-1章/3-4規則により要求されている非常時における貨物船及び旅客船の曳航手順に関する手引きとして取り纏めたもの。	2012.10.15.	—
SC8	ISO 17682:2013	Ships and marine technology -- Methodology for launching ship utilizing air bags	船舶及び海洋技術－エアバッグを用いた船舶の進水方法	進水船舶の仕様、施設(エアバッグ、船台、曳航装置等)、進水手順、進水時の安全措置等に関する指針を含むエアバッグを使用した船舶の進水方法に係る一般的な指針を取り纏めるもの。	2013.05.01.	—
SC8	ISO 17683:2014	Ships and marine technology -- Ceramic welding backing for marine use	船舶及び海洋技術－船用セラミック製溶接裏当材	船用セラミック裏当材の分類、寸法及び外観、性能、試験方法等について取り纏めるもの。	2014.02.01	—
SC8	ISO 17894:2005	Ships and marine technology -- Computer applications -- General principles for the development and use of programmable electronic systems in marine applications	船舶及び海洋技術－コンピュータアプリケーション－船舶用プログラマブル電子系の開発及び使用に関する一般原則	信頼性のある船舶用プログラマブル電子系の開発並びに使用に関する必須原則、推奨判定基準及び関連指針について取り纏めたもの。	2005.03.15.	JIS F 8082:2007 (IDT)
SC8	ISO 17939:2015	Ships and marine technology -- Oil-tight hatch covers	船舶及び海洋技術－オイルタイトハッチカバー	オイルハッチカバーの分類、寸法、性能、試験方法、検査、表示、梱包、輸送及び設置の要件を取りまとめるもの。【中国提案】	2015.09.01	—
SC8	ISO 17940:2015	Ships and marine technology -- Hinged watertight doors	船舶及び海洋技術－ヒンジ付き水密戸	1966年の満載喫水線に関する国際条約を考慮した船用ヒンジ付き水密戸の主要寸法、材料、品質及び製造条件について取りまとめたもの。【中国提案】	2015.09.01	—
SC8	ISO 17941:2015	Ships and marine technology -- Hydraulic hinged watertight fireproof doors	船舶及び海洋技術－油圧式ヒンジ付き水密防火戸	油圧式ヒンジ付き水密防火戸の分類、寸法、性能、試験方法、検査、輸送及び設置方法等について取りまとめるもの。この規格は水圧1.0MPaまで耐えることができる油圧式ヒンジ付き水密防火戸の設計、製造及び受け入れに適用する。【中国提案】	2015.03.15	—
SC8	ISO/DIS 19636	General requirements for inclinometers used for determination of trim and list of LNG carriers	LNG船のトリム及びリストの測定に用いる傾斜計の一般要件	LNG船におけるCTMSのトリム及びリストを測定するための傾斜計の設置及び計測方法等について取りまとめるもの。【韓国提案】 本件審議のため、SC8/WG10が設置されており、2015年2月、7月及び2016年1月のISO/TC8/SC8会議で審議。	2017.01.29 DIS投票可決	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
TC67/S C9/JWG 3	ISO 20088-1:2016	Determination of the resistance to cryogenic spillage of insulation materials - Part 1: Liquid	極低温の暴露試験－第1部:液体	極低温環境下における絶縁体素材の暴露試験方法を取り纏めたもの。【フランス及び韓国提案】 ISO/TC8/SC8とISO/TC67との合同作業委員会(TC67/JWG13)が新設置され、TC67リードで開発が進められることになった。ISO20088-1の開発を行うためのJWG13が2014年11月に中国塗料がホストを務め、船技協の協力のもと東京で開催された。 最近では第5回会議が2016年3月にフランスで開催され、次回会議は2016年10月にドバイで開催される予定となっている。 また、TC67傘下委員会の改組に伴い、本案の開発を担当するTC67/JWG13はTC67/SC9/JWG3へ変更されることになった。	2016.09.15	—
TC67/S C9/JWG 3	ISO 20088-1:2016	Determination of the resistance to cryogenic spillage of insulation materials - Part 1: Liquid	極低温の暴露試験－第1部:液体	極低温環境下における絶縁体素材の暴露試験方法を取り纏めたもの。【フランス及び韓国提案】 ISO/TC8/SC8とISO/TC67との合同作業委員会(TC67/JWG13)が新設置され、TC67リードで開発が進められることになった。ISO20088-1の開発を行うためのJWG13が2014年11月に中国塗料がホストを務め、船技協の協力のもと東京で開催された。 最近では第5回会議が2016年3月にフランスで開催され、次回会議は2016年10月にドバイで開催される予定となっている。 また、TC67傘下委員会の改組に伴い、本案の開発を担当するTC67/JWG13はTC67/SC9/JWG3へ変更されることになった。	2016.09.15	—
SC8	ISO/DIS 20154	Guidelines on design method of vibration isolation for ship auxiliary machinery	船用補機の振動防止のための設計方法に関する指針	船用補機の振動防止のための設計方法に関する指針(ガイドライン)について取り纏めたもの。【中国提案】 【補足】 NP投票はエキスパート定足数の不足により2014年10月10日付で否決されたが、提案国の要請により投票が1ヶ月間延長され、結果として、NP投票が可決された。本件審議のため、SC8/WG12が新設置された。 2015年2月、7月、2016年1月及び7月のISO/TC8/SC8会議で審議。DIS段階に審議を進めることが決定	2017.03.21 DIS投票可決	—
SC8	ISO/DIS 20155	Test method of flow induced in-pipe noise source characteristics for ship-used pump	船内ポンプの水流によるパイプ内騒音減特性の測定方法	ポンプを起因とした水流により引き起こされたパイプ内騒音源特性の計測方法について取り纏めたもの。【中国提案】 【補足】 NP投票はエキスパート定足数の不足により2014年10月10日付で否決されたが、提案国の要請により投票が1ヶ月間延長され、結果として、NP投票が可決された。本件審議のため、SC8/WG13が新設置された。 2015年2月、7月、2016年1月及び7月のISO/TC8/SC8会議で審議。DIS段階に審議を進めることが決定	2017.03.21 DIS投票可決	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC8	ISO/DIS 20233-1	Ships and marine technology -- Model test method for propeller cavitation noise evaluation in ship design -- Part 1: Source level estimation	プロペラキャビテーションノイズ評価のためのモデル試験方法 - 第1部: 音源レベル推定法	<p>プロペラキャビテーションの騒音評価試験法を取り纏めたもの。【韓国提案】 本件審議のため、SC8/WG14が新設置された。</p> <p>2015年2月、7月、2016年1月のISO/TC8/SC8会議で審議を実施。 これまでの国際審議を通じて、概ねの日本意見の反映が終了し、日本にとり、問題がない内容となった。2016年7月に次回会議が計画されており、この会議が終了後、DISへ審議段階を進めることが決定している。</p> <p>2016年7月の会議で韓国が新たにノイズ源推定法に関する新規ISO規格案の提案を表明したことを受け、本件はISO20233-1に変更された。 また、この会議に於いて、韓国は船尾変動圧力測定に関する新規ISO規格案の提案についても改めて表明した。日本としては上述のノイズ源推定法及び船尾変動圧力測定に関する提案取りやめを韓国に働きかけたがISO20233-2及びISO22098として開発が始まった。</p> <p>DIS投票期間中であつたが2017年2月にWG14会議を開催し、日本意見及びドイツ意見への検討を行った、</p>	2017.03.05 DIS投票可決	—
SC8	ISO/AWI 20233-2	Ships and marine technology -- Model test method for propeller cavitation noise evaluation in ship design -- Part 2: Noise source localization	プロペラキャビテーションノイズ評価のためのモデル試験方法 - 第2部: 音源探査	<p>この規格は、船舶設計におけるプロペラキャビテーション音源評価のモデル試験方法を規定している。試験の目的は、模型試験によって設計段階でプロペラのキャビテーションノイズ特性を評価することにより、船舶設計におけるプロペラ騒音を低減することである。間接的な音響感知法を用いて設計段階で雑音源を局在化させ、その雑音レベルを予測することとしている。</p> <p>2017年2月にWG14会議を開催し、NP投票で提出された意見(主に日本意見)の審議を行い、日本意見は概ね反映され、本件計測は一般的には目視で行われている旨が追記されることになった。</p>	2017.01.17 NP投票可決	—
SC8	ISO/DIS 20313	Ships and marine technology-- Cathodic protection of ships	船舶及び海洋技術－船舶用カソード防食	<p>船体および船体付属物のカソード防食に関する必要条件および指針を取り纏めたもの。【NACE提案】 本件審議のため、SC8/WG15が新設置された。</p> <p>2015年3月30日～31日に東京において第1回SC8/WG15会議が開催された。 UKより作業遅延が指摘され、2016年1月開催のTC8/SC8会議と併催した。この結果、UKが新たなWGコンビーナに就任した。新コンビーナは現在の前述の適用範囲を拡大させ、タンクなど船体全体を適用範囲とし、WGに参加する各国で分担してドラフトをする方針を示した。国内関係者での協議の結果、日本として本件を主体的に開発するスタンスには至っていないことが確認できたところ、WGへは不参加とし、投票で日本意見を表明することとしている。</p>	DIS投票着手 予定 '2017.04.04～ 2017.06.26	—
SC8	ISO 21005:2012	Ships and marine technology -- Thermally toughened safety-glass panes for windows and side scuttles	船舶及び海洋技術－船用角窓及び丸窓用熱強化安全ガラス	ISO 3903に適合する角窓及びISO 1751に適合する丸窓に用いられる熱強化安全ガラスの材質及び仕上げ、互換性確保に必要な寸法、公差、平行度および平坦度、表示並びに製品の呼び方等について取り纏めたもの。	2004.10.01.	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
SC8	ISO/DIS 21005	Ships and marine technology -- Thermally toughened safety-glass panes for windows and side scuttles	船舶及び海洋技術－船用角窓及び丸窓用熱強化安全ガラス	附属書に規定される計算式の一部に誤記があったため、これを是正するための小改正。	DIS投票中 2017.05.29 〆切	—
SC8	ISO/AWI 21635	Ships and marine technology — Specification for high manganese steel used for small scale LNG tanks on board ships	船舶及び海洋技術－小規模LNGタンク用高マンガン鋼の仕様	船上に設置する小規模LNGタンクに用いる高マンガン鋼の仕様について取り纏めたもの。 2016年7月に上海で初回会議を、2017年2月に第2回会議を開催した。	NP投票可決 2016.05.04	—
SC8	ISO/AWI 21984	Ships and marine technology -- Guidelines for measurement, evaluation and reporting of vibration with regard to habitability on specific ships	船舶及び海洋技術－一定条件の船舶の居住性に関する振動の測定、評価、報告	一定条件の船舶の居住性に関する振動について、適切な測定方法、評価方法、報告方法を取り纏めたもの。【日本主導】 2017年2月に初回WGを開催し、DISへ審議を進めることが合意された。	DIS投票着手 予定 2017.05.22～ 2017.08.13	—
SC8	ISO/AWI 22098	Full-scale test method for propeller cavitation observation and hull pressure measurement	実船におけるプロペラキャビテーション観測と船体船尾圧測定法	この規格は、プロペラキャビテーション観測と船体船尾圧測定の実船による試験方法を取り纏めたもの。この試験の目的は、実船試験によりプロペラキャビテーションの挙動と船舶振動への影響を検証することとしている。プロペラキャビテーションの挙動とそれに関連する船体圧力は、模型試験によって評価されるのが一般的であるが、模型試験では実船のフルスケールキャビテーション現象が計測できない場合があり得る。この規格では、キャビテーション観測および船体船尾圧測定のための手順(テストセットアップ、構造安全性、データ処理および報告)を含む。	NP投票可決 2017.01.17	—
SC8	ISO/AWI 22152	Ships and marine technology-- Specification of bio-soluble mineral wool products	船舶及び海洋技術－生分解性ミネラルウールの仕様	この規格は、シップリサイクル条約に基づくアスベストなどの材料に変わる生分解性ミネラルウールの仕様を取り纏めたもの。 リフラクトリーセラミックファイバーを除くミネラルウールは欧州に生体溶解性基準が存在し、このISO案で定める内容に注意を要する旨を国内専門家から指摘を受けている一方で、このISO規格案がリフラクトリーセラミックファイバーを定める内容とすれば、この規格で定める考え方も成り立つ旨の意見を受けている。ただし、リフラクトリーセラミックファイバーは日本の労働安全衛生法下の特定化学物質障害予防規則の管理第2類物質、特別管理物質に指定され、規制を受ける(従来のアスベストの規制と同じ)。	NP投票可決 2017.02.08	—